



## 2022年 年頭（新年）のご挨拶

一般社団法人 あぶくまエヌエスネット  
代表理事 進士 徹（ぼんた）

年頭のご挨拶が大変遅れてしまいました。  
すでに2月になろうかというこの時期になってしまいました。  
大変失礼いたしました。

### 「1、今は大変だけど絶対大丈夫」

新しい年が始まり、コロナ禍からなかなか脱することのできない日々が続いています。  
その中で皆様が日々努力して感染予防も徹底する中においても、変異株の「オミクロン変異感染」この感染拡大に歯止めがきいていない状況は、メンタル的にも相当なダメージがあるのではないのでしょうか。

ですが、原発事故を経験してしまった福島県民、私もそうですが思う気持ちは「**開けない夜はない！**」ということです。」

「原発事故後すぐに「ふくしまキッズ」を立ち上げて、みんな真っ暗いトンネルに押し込まれ、その中でも心を寄せ合い、アクションを起こせた！その先に生きる勇気を見出すことができました。」この経験を持っているのでコロナ禍でも大丈夫！その先にきっと新たな世界がある！そう信じています。

### 「2、ぼんた山の農のレベルを上げる」

ぼんた山の農業は今やペー君が軸になっています。  
有機農法を今までもこれからも実践していきます。コロナになってしまったこの2年で安心安全なお米・野菜を求める人が多くなってきたことを実感しています。

2022年には「有機 JAS」の認定を受けられるようにします。

有機 JAS にお米、野菜も認定されるということは、国が認めた有機農産物ということになります。その審査はとてもハードルが高いですが、粘り強くトライしてみます。

現在は、月1回の野菜倶楽部、直売所に出荷がメインですが、有機 JAS を取り扱うスーパーなどにも販路が広がります。

また昨年クラウドファンディングに挑戦して、「ペレット製造機」を導入することが可能になりました。まずはその倉庫を新築します。その後に機械を導入します。

導入できれば、自然の肥料「米ぬか・燻炭・大豆・ミネラル・えひめ AI」を配合して田んぼ・畑の肥料として使います。

そしてこの有機ペレット肥料を商品化して販売まで出来たらと思っています。

きっと、このような自然の素材を使用した肥料を求めている人は多いと思います。

過疎地で暮らす私たちにできること！可能性をさらに探求していきたいと思っています。

### 「3、ぽんた山元気楽校今年もやります。」

子どもたちから人気の体験教育プログラム「ぽんた山元気楽校」新年度も実施します。

日帰りの石窯クッキングファミリー4月～11月

宿泊プログラム「5月連休・夏休み・9月連休・冬休み・春休み」5回受け入れを計画しています。日程詳細はあぶくまエヌエスネットカレンダーで確認してください。

子どもが子どもらしく！元気よく野外で遊ぶ姿はいつの時代でも変わりません。

特に教育現場でも家庭でも IT が普及して思い切り体を動かし遊ぶ機会も減少傾向です。

ぽんた山にすれば、一時ゲーム機から離れてスッキリした子どもタイムを充電できます。

### 「4、ジャパンキッズ始動～」

コロナ禍になってさらに格差社会の狭間にいる子供たちいます。すべての子どもたちは平等である！！という考えのもと、関西で自然体験活動をしている片山さんを中心に、全国ネットでジャパンキッズを始動します。

初年度は受け入れ地も若干ですが、長期ビジョンでやるので急がず、たゆまずじわりじわり社会に認知してもらいつつ息の長い子どもを中心とした社会の仕組みに変えたいと願いつつ活動していきます。

大きな社会のうねりになり、心豊かな社会の実現も兼ねた事業です。

どこに行っても子どもたちの元気な姿が見ることができる！そんなジャパンキッズにしたいです。

具体的になったら、ホームページ・ブログなどでお知らせさせていただきます。

## 「5、多様な連携協働事業」

あぶくまエヌエスネットの事業は、今までたくさんの方々と事業連携を実施してきました。それは、過疎地であるがゆえに単体の私たちが主催する事業の限界があります。なので透明性を持ったつながりであり、持続可能な事業継続を実行していきたいです。

そして、また新たな事業連携なども模索しています。

コロナ禍で停滞している事業もありますが、現在連携がのほ下記のとおりです。

- \* 首都圏の子どもたちの自然体験教育プログラム；認定 NPO 法人夢職人
- \* 若者の田舎ホームステイ；ふぁみりん
- \* ほんとうの空のプログラム；福島民報社
- \* 県内の自然学校、フリースクールの集合体「子どもが自然と遊ぶ楽校ネット」—冒険ひろば/公教育連携の実施
- \* 「野原君キャンプ」—軽度の学習障害のハンディを抱える子供たちの教育プログラムの実施

これから模索している事業連携として

心豊かな生き方暮らし方の実現！その観点から興味関心を持つ団体・企業とのアクションプログラムの具現化です。

例えば

- \* 農業機械メーカーと、障害や高齢の方でも親しめる農作業の環境整備。農業福祉の実現に向けて！！
- \* 企業連携による、過疎地域活性化プロジェクト！企業社員さんが過疎地に来て休耕する農地を再生、そこで収穫できた野菜など自給もしくは販売。付加価値をつけるための加工商品開発。
- \* 進学学習塾と連携した、バランスの取れた成長を応援するプログラム開発。テストにパスして合格点を取るだけでなく、心身のバランスをしっかりとりながら多様な直接体験や共同生活から学びえるための新教育実践プログラムの開発。
- \* 子育てパパ・ママ応援プログラム！乳幼児を抱える家庭をぼんた山に来て、食育、多様な体験プログラムを実施する。
- \* 婚活～田舎体験共同プログラム！不備な環境で互いを支え合い、工夫し一緒に力を合わせて創り上げるスキルアッププログラム
- \* 大学、高校と提携した農村活性化プロジェクト！！大学や高校の鮫川校舎を設置。農村実習で、農業、林業、畜産のお手伝いをしつつ農村での暮らしを経験し、多様な人材育成の場とすること。また高齢一人暮らし世帯への訪問で交流を持つなど多世代交流を実施す

る。

まだまだありそうですが、この辺で終わりにしておきます。

過疎地が寂れることなく、楽しく持続可能な交流をいつまでも続けられるような連携協働を構築していきたいです。

## 「6、ぼんた、由美子おばさんの健康と体力維持」

ラストは、なんといっても上記にあげる事業や活動を展開するためには、動ける体がなければ何もできません。

ぼんたも由美子おばさんも同じ年齢です。65歳。昔であれば引退の年齢です。

なのでいつまでも元気でいたいので、健康と体力を維持して、決して無理しない！

ゆったりとした気持ちをキープし、毎日楽しく愉快地に充実した日々を過ごす！

美味しく新鮮な食をとること。

適度な運動を継続すること。

自然の中で暮らしているので、日々の自然の移ろいを感じつつ、自然に感謝すること・・・深呼吸を時々してリラックスですね。

以上が2022年に実現したいこと、実行したいことです。

みんなが幸せに生きる権利があります。

生を受けた瞬間から、幸せに生きなければ・・・です。

心豊かな生き方はお金が沢山あって、物があるれ・・・簡単便利で手早く何不自由なく暮らす！このことだけではないと思っています。

生き方暮らし方の価値観を、ぼんた自信が東京出身ですが、今や頼まれても都市部には暮らしたくありません。

この農村には実に心もゆったり、食の豊かさは都市よりも優れています。

どんなに高級なレストランよりも新鮮でおいしく、安心していただける野菜、お米を自給しています。こんな贅沢はありません。

12年前に心臓の手術を受けて、冬は少々寒さが厳しいですが、普通に暮らせるようになったのは、上記の食生活が豊かだから健康体になったと確信しています。

65歳になってもまだこうして働けることに日々感謝しつつ、また子どもたちと時々一緒になって過ごす時間をこれからも大切にしていきたいと思います。

今年もあぶくまエヌエスネットをよろしく願いいたします。